

デザイン思考を活用した 探究型学習プログラム

多様な他者との協働を通して課題を見出し
創造的に解決していく考え方 = デザイン思考

東北芸術工科大学では、「デザイン思考」を探究的な学習や課題研究に取り組む
中学校・高校で活用できる手法と捉え、近隣の中学校・高等学校と協働しながら、
プログラム検討・授業連携を行っています。そして、ここ数年の協力校との試行
錯誤を経て、デザイン思考を活用した探究型学習「3段階の授業プログラム」を
指導案の形でまとめました。

デザイン思考を活用した探究型学習 3段階の授業

指導案

1

探究ガイダンス・安心かつ創造的な教室をつくる

生徒同士が安心して発言しあえる場を創ると共に、教室に創造的、
探究的な空間をつくる。デザイン思考を活用した探究の基礎を学ぶ。
講義【探究スイッチを入れる方法 (クリエイティブ・マインドセット)】

指導案

2

基本的な取り組み姿勢を育む

デザイン思考を活用した「探究的な学び5つの活動」の体験を通して
探究を進める上での基本的な取り組み姿勢を体得する。
演習課題例【友人のためのペンケースをつくる】

指導案

3

身近な課題で探究プロセスを体験する

生徒にとって身近な課題の設定を行い、探究のプロセスを体験する
ことにより、自らが設定する課題の見通しを立てやすくする。
演習課題例【校内の課題 / 生徒と校外をつなぐ課題】

※ 指導案1～3まで順を追った実施を推奨しますが、いずれか単独、またはいずれかの組み合わせで
実施することも可能です。

授業プログラムの概要

指導案1は、入学直後に実施する探究ガイダンスの位置づけであり、探究活動を行
う上での基本的な心構えを体験的に理解する講義形式の内容です。

指導案2・指導案3は、デザイン思考を活用した演習形式の内容です。

最初のページには活動の概要として、「身につく力」「活動の様子」「準備物」「教
室のレイアウト例」「生徒の提案例」「生徒の振り返り」をまとめています。次ペ
ージ以降は、指導案を表の形に組み、縦軸に「授業内容」「活動のねらい(生徒の視点)」「
評価(活動の見方)」「進行上の留意点」を、横軸には進行にかかる「活動の項目」
と「目安の時間」を配置してまとめています。

巻末のトピックスでは、対面(密接)を避けてグループワークを行うための方法と
して、ブレインライティングを活用した活動案をご紹介します。

本冊子の内容に関心を持たれた先生方へ

本冊子の内容にご関心を持たれた各校の先生方におかれましては、本学教員によ
る研修会を開催し、演習を体験いただくことをお勧めしています。

本演習では「理論と実践」による気づきが多くあり、「体験的な学び」を通して探
究活動への理解が深まると、参加いただいた先生方からご意見、ご感想をいただ
いています。生徒の視点に立ち、探究の楽しさや、つまづきやすいポイント等を
肌感覚でご理解いただくことにより、探究活動全体の見通しが立てやすくなりま
したら幸いです。

教員研修会の後、使用したスライドとワークシートをお渡しいたします。是非、
各校の先生方で試行ください。そして、各校の特徴を引き出す独自のスタイルへ
と導かれますこと、創造的な空気に包まれた教室で、そして校外で、生徒主体に
よる対話的で深い学びが実現していくことを期待しています。

まずはお気軽にお問い合わせください。